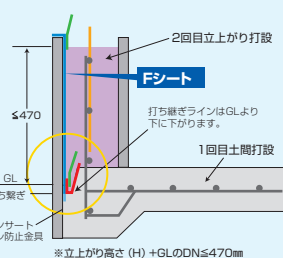


Fシート 切欠きプレートの仕様について

切欠きプレートとは施工時に使い「打ち継ぎライン」をGLより下に下げる治具になります。それにより、基礎表面を段差なく仕上げることが出来ます。



◆切欠きプレート



◆NSP Fシートとは…
NSP Fシートとは、弾性塗料の塗布工法と同様の美観と、コンクリートの中性化抑制効果に加え、工期短縮を実現可能にしたすぐれた商品になります。

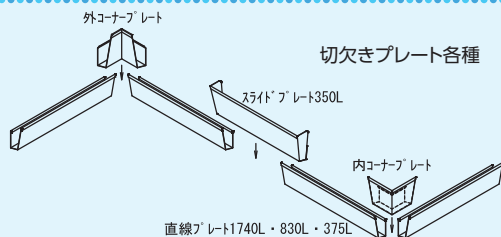


ビフォー



アフター

取り外しやすくなりました。



◆切欠きプレート変更点

今までこの切欠きプレートの強度が弱く変形してしまったり、外しにくいという意見からいくつか仕様変更致しました。

- ① 底面部に角度をつけ、抜き取りの抵抗を緩和。
- ② ヘミング部分をダブルヘミングにし、歪みに対する強度アップ。
- ③ コーナー部分を独立型にする。

◆基礎業者様の反応・感想

「従来の切欠きプレートだと、コーナー部分が特に外しづらかったが新作プレートだと落とし入れるだけなので外しやすく施工もやりやすくなったので助かる」などの意見を頂いています。

施工性も向上し、基礎を綺麗に仕上げられます。この機にご検討の程宜しくお願い致します。

特販部 細江貴祥

◆ブロック塀基礎スパーサー新発売！

ブロック塀基礎のかぶりを簡単にかつ確実に確保できる商品「ブロック塀基礎スパーサー」をご紹介します。



鉄ベース枠用



木枠用



ビフォー

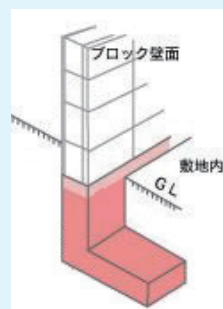


アフター

④ 従来スタイロホームで端部の壁を作っていたがスライドプレート両側に壁を作ることにより簡素化。

① 商品の用途

ブロック塀を施工する時、境界での施工やかぶりの確保は大きな課題となります。この問題を一挙に解決できる商品となります。



ブロック塀基礎

② 商品の特長

ブロック塀基礎スパーサーには大きく分けて3つの特長があります。

1. 安定したかぶりの確保！
2. 工期短縮
3. 境界際ギリギリの施工が可能



設置風景

③ ブロック塀の規定について

現在の建築基準法では塀の高さは2.2m以下と定められており、また控壁が必要となります(1.2m以下の場合法令上は不要)。



控壁

しかしこの法令は1981年に改訂された法令であり、それ以前に建てられた建設物ではこの法令に適用していないものもあります。法律改正以前に作られたブロック塀は、設置当時は適法だったので、いわゆる「既存不適格」という状態となり、法的に規制できません。しかし法律が改訂される以前に建てられた塀が危険であることに変わりはありません。



そのため国土交通省は地方自治体を通して、ブロック塀の安全点検を行うように呼びかけています。現在もブロック塀の検査や立て直しの問合せは非常に増えています。

その中で工期を短縮し、かつかぶりを確保できるこの製品は非常に重宝されております。

お使い頂いているお客様にも、「二度使うと非常に施工しやすく、もう元のやり方に戻れない」と言ううれしい声も頂いております。

ブロック塀を建てる時は是非一度お試し下さい。

住宅部 網野正秀

大口径長尺管やボックスカルバートの施工に!

〈幅広現場で大活躍!〉

クイック土留長尺サポート

今回は、当社のスイング式パネルに長尺サポートを取付けて施工した現場から、お客様の声を投稿して頂きました。

◆大口径3020パネルにクイックサポート長尺タイプ

当社は、石巻市内で土木・建築を営む会社です。

今回は、石巻市の半島部防災機能強化事業の現場で、大型ボックスカルバートの布設でした。

既存のボックスを取り壊しながらの施工という事で、鋼矢板の事前施工による土止めが出来ない問題点がありました。そんな時、NSPの営業さんから長尺サポートについて紹介されました。



以前から下水道工事等で使用していたパネルでした。使用していたパネルはよく知っていました。

まず、既存のボックスを取り壊し・掘削しながら土止めを設置していくので、大がかりなクレーンなどを

使用しなくて済みました。

ボックスカルバートの布設についても、ベースコンクリートに捨て張りを設置することで、下部のサポートを取り外せ、作業スペースも広く取れました。上部パネルと下部パネルのジョイント部分も縦梁連結金具を使用することで堅固になり、心配なく下部サポートを取り外すことが出来ました。



クイック土留用長尺サポート

その他、転落防止柵や昇降設備等の部材も充実していました。

問題として感じたことが、長尺サポートの組み立てです。細かいパーツを現場で組み立てるのは大変でした。ある程度、組み立てられた状態(2分割)程度なら、現場でも作業時間の短縮を図れると思いました。

レンタル事業部仙台営業所

久保 幸一

◆GPLパネルに長尺サポート

雨水ボックスカルバート布設工事の現場で、GPLパネルに長尺サポートを取付けて使用して頂きました。本来は先行矢板で設計されておりましたが、住宅街の道いっぱいにカルバートが座り、また架空線が多々あり、

矢板を打込めない状況であった為、GPLパネルで提案し受注に繋がりました。



先行矢板から建込簡易土留に設計変更が出来た事で工事金額は下がりましたが、役所からは「こんな施工が出来

るのか」と高評価を頂きました。お客様も「先行矢板の設計がクラッシュパイラーであった為、業者の言い値で、持ち出し覚悟で施工しなくてはならなかった事を避けられた」と評価して頂きました。



GPL用長尺サポート

また、この時期は忙しい時期であった為、打込施工業者を段取り出来ておらず工期延長を避けられたとの事です。

施工に際しては、GPL土留では水圧を抜くことで、不自由なく切梁を脱着出来た事が施工性のアップに繋がったと高評価頂きました。

◆36パネルに長尺サポート

都心部では少ないかもしれま

せんが耕地区画の整備、用排水路の整備、土層改良、農道の整備、耕地の集団化といった圃場整備事業が香川県・徳島県で行われています。

今回の現場は、本来の設計では安定勾配で見られておりオーブン掘削でした。GL点から掘削深H11.5mでは土量、そして安全面で施工が困難な事からお客様より相談を受け36パネルと長尺サポートにて施工提案させて頂きました。



36パネル長尺サポート

したが、36パネルと捨梁にてクリアし、施工に繋がりました。



お客様からは、「何よりもH11.5mと深かった為、安全に施工することを考えた結果、エヌ・エス・ピーに依頼しました。

据え付けるボックスもそれに大きき、当初の設計ではオーブン掘削でしたが、とてもじゃないが周りへの影響等を考

えると施工出来る状況ではありませんでした。安全に36パネルで施工出来た事、周りの民家・道路等に影響がでなかった事、そして掘削土量を抑えられたことが良かったです。」と高評価を頂きました。

レンタル事業部四国営業所

柄澤 祐樹

編集後記

秋ですね…。あと少しすると、紅葉シーズンがやってきます。

紅葉やイチヨウと同じく、日本人に「秋」を感じさせる「赤とんぼ」。

実はこの赤とんぼ、赤いのは成長したオスだけだと思存じですか？

メスや若いオスは、黄色っぽい色をしています。

また、一口に「赤とんぼ」と言っても1種類だけではなく、日本には21種類もの赤とんぼが生息しているようです。今年の秋、あなたが目にするとんぼは、赤くなくても、実は赤とんぼかもしれませんね。

レンタル事業部仙台営業所

山口 健

